

# スタートアップガイド

(第1版)

本書は必要なときすぐに参照できるよう、お手元に置いておくようにしてください。「使用上のご注意」を必ずお読みください。

本書は製品を安全にお使いいただくための手引きです。ご使用になる前に本書をよくお読みになり、本製品の取り扱いを十分にご理解ください。また、サーバ本体装置への製品の接続方法や、製品仕様につきましては、NECのサポートサイトからダウンロードしてください。

NEC サポートサイト URL  
<http://support.express.nec.co.jp/pcserver/>  
→「検索」の「型番・モデル名から探す」を選択  
→モデル名を記入し「型番で検索」を選択  
→型番「N8143-144」を入力  
→「製品マニュアル(ユーザーズガイド)」を選択  
→該当型番のユーザーズガイドを選択

構成品一覧		
品名	数量	備考
18.5 型 LCD コンソールユニット	1	本製品
スタートアップガイド	1	本書
保証書	1	
接続先表示ラベルシート	1	36 枚/1 シート
AC100V 用電源コード(1.8m)	1	
ファームウェアアップグレードケ ーブル(LCD コンソール用)	1	
ケーブル結束バンド (面ファスナー)	10 以上	予備含む
ケーブルホルダー(電源コード用)	2 以上	予備含む
ケーブルホルダー取り付けツール	1 以上	予備含む
ラックレールセット(タイプB)	1	L/R 各1
ネジ (M4×6mm)	4 以上	予備含む
ネジ (M5×10mm)	10 以上	予備含む

## ご注意

- 本書の内容の一部または全部について、許可なく複製・転載・翻訳・他形式・メディアへの変換等を行うことは、禁止されています。
- 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については、万全を期して作成いたしましたが、万一お気付きの点や、ご不明の点がありましたら、販売店または弊社までご連絡ください。
- 本製品を運用した結果の影響については、上記 3 項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、ご了承ください。
- 本書は、本体装置の操作に熟知した管理者、または保守員向けに記載されておりま。本体装置の取り扱いや、各種 OS の操作、その他一般的かつ、基本的な事柄につきましては記載を省いておりますのであらかじめご了承ください。

© NEC Corporation 2022



NEC の許可なく複製・改変などを行うことはできません

## 使用上のご注意 -必ずお読みください-

本製品を安全に正しくご使用になるために必要な情報が記載されています。







### 安全にかかわる表示について















本製品を安全にお使い頂くために、本書の指示に従って操作してください。本書には装置のどこが危険でどのような危険に遭うおそれがあるか、どうすれば危険を避けられるかなどについて説明されています。本書では危険の程度を表す言葉として、「警告」と「注意」という用語を使用しています。それぞれの用語は次の意味を持つものとして定義しています。

- **警告** “取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷(\*1)を負うことが想定されること”を示します。
- **注意** “取扱いを誤った場合、使用者が傷害(\*2)を負うことが予想されるか、または物的損害(\*3)の発生が想定されること”を示します。

- \*1: 重傷とは、失明やけが、やけど(高温・低温)、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
- \*2: 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさします。
- \*3: 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。
















危険に対する注意・表示は次の 3 種類の記号を使って表しています。それぞれの記号は次のような意味を持つものとして定義しています。

本書で使用する記号とその内容		
	この記号は、危険が発生するおそれがあることを表します。記号の中の絵表示は危険の内容を図案化したものです。	
	この記号は行為の禁止を表します。記号の中や近くの絵表示は、してはならない行為の内容を図案化したものです。	
	この記号は行為の強制を表します。記号の中の絵表示は、しなければならない行為の内容を図案化したものです。危険を避けるためにはこの行為が必要です。	








	感電のおそれのあることを示します。
	発煙または発火のおそれがあることを示します。
	爆発または破裂のおそれがあることを示します。
	指がはさまれてけがをするおそれがあることを示します。
	けがをするおそれがあることを示します。
	特定しない一般的な注意・警告を示します。
	本製品を分解・修理・改造しないでください。感電や火災のおそれがあります。
	水や液体がかかる場所で使用しないでください。水に濡らすと感電や発火のおそれがあります。
	特定しない一般的な禁止を示します。
	濡れた手で触らないでください。感電するおそれがあります。
	指定された場所以外には触らないでください。感電や火傷などの傷害のおそれがあります。
	本製品の電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電のおそれがあります。
	特定しない一般的な使用者の行為を指示します。説明に従った操作をしてください。
	必ず接地してください。感電や火災のおそれがあります。




















## 安全上のご注意

### 全般的な注意事項

 <b>警告</b>	
	人命に関わる業務や高度な信頼性を必要とする業務には使用しない 本製品は、医療機器・原子力設備や機器、航空宇宙機器・輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込み、およびこれらの機器の制御などを意図していません。 これら設備、機器、または制御システムなどに本製品を使用した結果、人身事故、財産損害などが生じても弊社はいかなる責任も負いません。
 	煙や異臭、異音が生じたまま使用しない 万一、煙、異臭、異音などが生じた場合は、ただちに本製品および接続されている全てのサーバの電源を OFF にして電源プラグをコンセントから抜いてください。 その後、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご連絡ください。 そのまま使用すると火災の原因となります。
 	針金や金属片を差し込まない 通気孔やすきまから金属片や針金などの異物を差し込まないでください。 感電の危険があります。
 <b>注意</b>	
  	日本国外で使用しない 本製品は、日本国内用として製造・販売しています。 日本国外では使用できません。 本製品を日本国外で使用すると火災や感電の原因となります。
  	本製品内に水や異物を入れない 本製品内に水などの液体、ピンやクリップなどの異物を入れないでください。 火災や感電、故障の原因となります。 それらが内部に入ったときは、ただちに電源をOFFにし、電源プラグをコンセントから抜いた後、分解しないで販売店または保守サービス会社にご連絡ください。
 	液晶ディスプレイを破壊したり傷つけたりしない 液晶ディスプレイが破損して内部の液体が口に入った場合は、すぐにうがいをしてください。 また、皮膚に付着したり目に入った場合は、すぐに流水で15分以上洗浄してください。 そして、ただちに医師にご相談ください。 液晶ディスプレイの内部には、刺激性物質が含まれています。

### ラックの設置・取り扱いに関する注意事項

 <b>警告</b>	
 	規格以外のラックで使用しない 本製品は米国電子工業会(EIA)規格に適合した 19 型(インチ)ラックにも取り付けで使用できます。 EIA 規格に適合していないラックに取り付けて使用しないでください。 本製品が正常に動作しなくなるばかりか、けがや周囲の破損の原因となることがあります。 本製品が使用できるラックについては保守サービス会社にお問い合わせください。
 	指定以外の場所で使用しない 本製品を取り付けるラックを設置環境に適していない場所には設置しないでください。 本製品やラックに取り付けているその他のシステムに悪影響をおよぼすばかりでなく、火災やラックの転倒によるけがなどをするおそれがあります。 設置場所に関する詳細な説明や耐震工事についてはラックに添付の説明書を読むか保守サービス会社にお問い合わせください。
 <b>注意</b>	
	環境温度 運用時、ラック周囲の温度は、周りの温度より高くなります。 そのため、各機器の設置は、メーカーの動作保証温度をその環境に合わせて考慮してください。

	エアフロー 本製品が十分冷却できるよう、ラックのエアフローを確保してください。
	ラックへの搭載 ラックへ機器を搭載するときは、重さが均一になるようにしてください。 左右または上下に偏りがあると危険です。
	過電流保護 電源の過負荷対策のため、過電流保護装置(ブレーカー)への接続を考慮してください。 この問題を解決するため、機器の銘板には装置の定格が記載されています。
	マウントされた機器の接地 ラックにマウントされた機器は確実に接地してください。
 	1人で搬送・設置をしない ラックの搬送・設置は2人以上で行ってください。 ラックが倒れてけがや周囲の破損の原因となります。 特に高さのあるラック(44Uラックなど)はスタビライザなどによって固定されていないときは不安定な状態にあります。 かならず2人以上でラックを支えながら搬送・設置をしてください。
 	荷重が集中してしまうような設置はしない ラック、および取り付けた装置の重量が一点に集中しないようスタビライザを取り付けるか、複数台のラックを連結して荷重を分散してください。 ラックが倒れてけがをするおそれがあります。
 	1人で部品の取り付けをしない/ラック用ドアのヒンジピンの状態を確認する ラック用のドアやレールなどの部品は2人以上で取り付けてください。 また、ドアの取り付け時には上下のヒンジのピンが確実に差し込まれていることを確認してください。 部品を落として破損させるばかりではなく、けがをするおそれがあります。
 	ラックが不安定な状態で本製品をラックから引き出さない ラックから本製品を引き出す際は、必ずラックを安定させた状態(スタビライザの設置や耐震工事など)で引き出してください。 ラックが倒れてけがをするおそれがあります。
 	複数台の装置をラックから引き出した状態にしない 複数台の装置をラックから引き出すとラックが倒れてけがをするおそれがあります。 装置は一度に1台ずつ引き出してください。
 	電源の定格を超える配線をしない 火傷や火災、本製品の損傷を防止するためにラックに電源を供給する電源分岐回路の定格負荷を超えないようにしてください。 なお、電源設備の設置や配線に関しては、電源工事を行った業者や管轄の電力会社にお問い合わせください。
 	指を挟まない ラックへの取り付け・取り外しの際にレールなどで指を挟んだり、切ったりしないよう十分注意してください。
	ラックから引き出した状態にある装置に荷重をかけない ラックから引き出された状態にある装置の上から荷重をかけないでください。 フレームが曲がり、ラックへ搭載できなくなります。 また、装置が落下し、けがをするおそれがあります。



⚠️ 警告	
⚡ 🚫	ぬれた手で電源プラグを持たない ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。 感電するおそれがあります。
⚡ ⚡ 🚫	アース線をガス管につながらない アース線は絶対にガス管につながらないでください。 ガス爆発の原因になります。
⚠️ 注意	
⚡ ⚡ 🚫 ⚡	指定以外のコンセントに差し込まない 指定された電圧でアース付のコンセントをお使いください。 指定以外のコンセントを使うと火災や漏電の原因となります。 また、延長コードが必要となるような場所には設置しないでください。 本製品の電源仕様に合っていないコードに接続すると、コードが過熱して火災の原因となります。 クラス 0I のアース線付の AC コードセットを使用するときは、接地接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。 接地接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。
⚡ 🚫	たこ足配線にしない コンセントに定格以上の電流が流れることによって、過熱して火災の原因となるおそれがあります。
⚡ ⚡ 🚫	電源プラグを中途半端に差し込まない 電源プラグは根元までしっかりと差し込んでください。 中途半端に差し込むと接触不良のため発熱し、火災の原因となることがあります。 また差し込み部にほこりがたまり、水滴などが付くと発熱し、火災の原因となるおそれがあります。
⚡ ⚡ 🚫	指定以外の電源コードを使わない 弊社で指定された電源コード以外のコードを使わないでください。 電源コードに定格以上の電流が流れると、火災の原因となるおそれがあります。 また、電源コードの破損による感電や火災を防止するために次の注意をお守りください。 ● コード部分を引っ張らない。 ● 電源コードを折り曲げない。 ● 電源コードをねじらない。 ● 電源コードを踏まない。 ● 電源コードを束ねたまま使わない。 ● 電源コードをステーブラなどで固定しない ● 電源コードをはさまない。 ● 電源コードに薬品類をかけない。 ● 電源コードの上にものを載せない。 ● 電源コードを改造・加工・修復しない。 ● 損傷した電源コードを使わない。（損傷した電源コードはすぐ同じ規格の電源コードと取り替えてください。交換に関しでは、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご連絡ください。）
⚡ ⚡ 🚫	添付の電源コードを他の装置や用途に使用しない 添付の電源コードは本製品に接続し、使用することを目的として設計され、その安全性が確認されているものです。 決して他の製品や用途に使用しないでください。 火災や感電の原因となるおそれがあります。
⚡ ⚡ 🚫	電源ケーブルを持って引き抜かない 電源ケーブルを抜くときはコネクタ部分を持ってまっすぐに引き抜いてください。 ケーブル部分を持って引っ張ったりコネクタ部分に無理な力を加えたりするとケーブル部分が破損し、火災や感電の原因となります。

⚠️ 注意	
⚡ 🚫	指定以外の場所に設置・保管しない 本製品を次に示すような場所や本書で指定している場所以外に置かないでください。 火災の原因となるおそれがあります。 ● ほこりの多い場所。 ● 給湯器のそばなど湿気の多い場所。 ● 直射日光が当たる場所。 ● 不安定な場所。
⚡ 🚫	腐食性ガスの存在する環境で使用または保管しない 腐食性ガス(二酸化硫黄、硫化水素、二酸化窒素、塩素、アンモニア、オゾンなど)の存在する場所に設置し、使用しないでください。 また、ほこりや空気中に腐食を促進する成分(塩化ナトリウムや硫黄など)や導電性の金属などが含まれている環境へも設置しないでください。 本製品内部のプリント基板が腐食・ショートし、火災の原因となるおそれがあります。 ご不明の点は販売店または保守サービス会社にお問い合わせください。
⚡ 🚫	指を挟まない ラックへの取り付け・取り外しの際にレールなどで指を挟んだり、切ったりしないよう十分注意してください。
⚡ ⚡ 🚫	本製品に接続されている製品の電源がONのままや、電源コードを差し込んだままインタフェースケーブルの取り付けや取り外しをしない インタフェースケーブルの取り付け/取り外しは、接続されている全ての製品の電源をOFFにし、本製品および接続されている全ての製品の電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。 たとえ電源をOFFにしても電源コードを接続したまま本製品内の部品やケーブル、コネクタに触ると感電したり、ショートによる火災を起こしたりすることがあります。
⚡ 🚫	指定以外のインタフェースケーブルを使用しない インタフェースケーブルは、弊社が指定するものを使用し、接続する製品やコネクタを確認した上で接続してください。 指定以外のケーブルを使用したり、接続先を誤ったりすると、ショートにより火災を起こすことがあります。 また、インタフェースケーブルの取り扱いや接続について次の注意をお守りください。 ● 破損したケーブルやコネクタを使用しない。 ● ケーブルを踏まない。 ● ケーブルの上にものを載せない。 ● ケーブルの接続がゆるんだまま使用しない。 ● ネジ止めなどのロックを外したまま使用しない。

⚠️ 警告	
⚡ ⚡ 🚫	自分で分解・修理・改造はしない 本書に記載されている場合を除き、絶対に分解したり、修理・改造を行ったりしないでください。 本製品が正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の危険があります。
⚡ ⚡ ⚡ ⚡	電源プラグを差し込んだまま取り扱わない お手入れや本製品のケーブルの取り付け/取り外しは、接続されている全ての製品の電源を OFF にして、本製品および接続されている全ての製品の電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。 たとえ電源を OFF にしても、電源コードを接続したままケーブルやコネクタに触ると感電するおそれがあります。 また、電源プラグはときどき抜いて、乾いた布でほこりやゴミをよくふき取ってください。 ほこりがたまったまま、水滴などが付くと発熱し、火災の原因となるおそれがあります。
⚡ 🚫	装置前面や内部にほこりが積もった状態で運用しない 定期的に清掃してください。装置前面や内部にほこりが積もった状態で運用を続けると、火災の原因となる恐れがあります。装置内部の清掃が必要な場合は、お買い求めの販売店、または保守サービス会社にご相談ください。
⚠️ 注意	
⚡ 🚫	中途半端に取り付けけない 電源コードやインタフェースケーブルは確実に取り付けてください。 中途半端に取り付けると接触不良を起こし、発煙や発火の原因となるおそれがあります。

⚠️ 注意	
🚫	スライドレール(ラックレール)をロックしないで使用しない コンソールを使用する際には、スライドレール(ラックレール)がロックされるまで引き出した位置で使用して下さい。 コンソールを格納する際には先に LCD パネルを閉じてからスライドレール(ラックレール)のロックを外し、ラックに格納して下さい。
⚡ 🚫	雷がなったら触らない 雷が鳴りだしたら、ケーブル類も含めて本製品には触れないでください。 また、機器の接続や取り外しも行わないでください。 落雷による感電のおそれがあります。
⚡ ⚡ 🚫	ペットを近づけない 本製品にペットなどの生き物を近づけないでください。 排泄物や体毛が本製品の内部に入って火災や感電の原因となります。
⚡ 🚫	コンソールを引き出したまま放置しない コンソールにぶつかり、けがをするおそれがあります。
⚡ 🚫 🚫	動作中に本製品をラックから取り外さない 本製品が動作しているときにラックから取り外したりしないでください。 本製品が正しく動作しなくなるばかりでなく、ラックから外れてけがをするおそれがあります。
⚡ 🚫 🚫	本製品の上にものを載せない 本製品がラックから外れてけがや周辺の家財に損害を与えるおそれがあります。
⚡ ⚡ 🚫	不要な物を置かない 本製品の上にジュース等が入った缶やコップ等の不要な物を置かないでください。 コップの中の水などがこぼれて本製品が正常に動作しなくなるばかりでなく、火災や感電の原因になります。

本製品には、危険性のある部品やその周辺に警告ラベルが貼り付けられています。 これは本製品を取り扱う際に、考えられる危険性を常にお客様に意識して頂くためのものです（ラベルをはがしたり、塗りつぶしたり、汚したりしないでください）。 もし、このラベルが貼り付けられていない、はがれかかっている、汚れているなどしているときは販売店にご連絡ください。 警告ラベルの貼り付け位置は「ユーザーズガイド」の「警告ラベル」を参照してください。

第三者への譲渡について  
本製品、または本製品に添付されているものを第三者に譲渡（または売却）するときは、本書ならびに添付品一式（電子マニュアル等を含む）を一緒にお渡しください。

本製品の廃棄について  
本製品の廃棄については、各自治体の廃棄ルールに従ってください。 詳しくは、各自治体へお問い合わせください。 なお添付の電源コードにつきましても、他の製品への誤用を防ぐため、本製品と一緒に廃棄してください。

コンピュータ機器を長時間使用する上で健康を損なわないため注意していただきたいことがらを記載します。 身体に負担がかからないよう心掛けましょう。

よい姿勢で作業を しましょう。	ときどき軽い体操をするなど、気分転換を はかりましょう。
ディスプレイの向きや明るさ（ブライトネス）、コントラストを 見やすく調節しましょう。	

その他  
本製品を安全に正しく取り扱うための説明や注意事項は、「ユーザーズガイド」で詳しく記載されています。

電波障害自主規制について この装置は、クラス A 機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。 VCCI-A
---

高調波適合品  
高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品

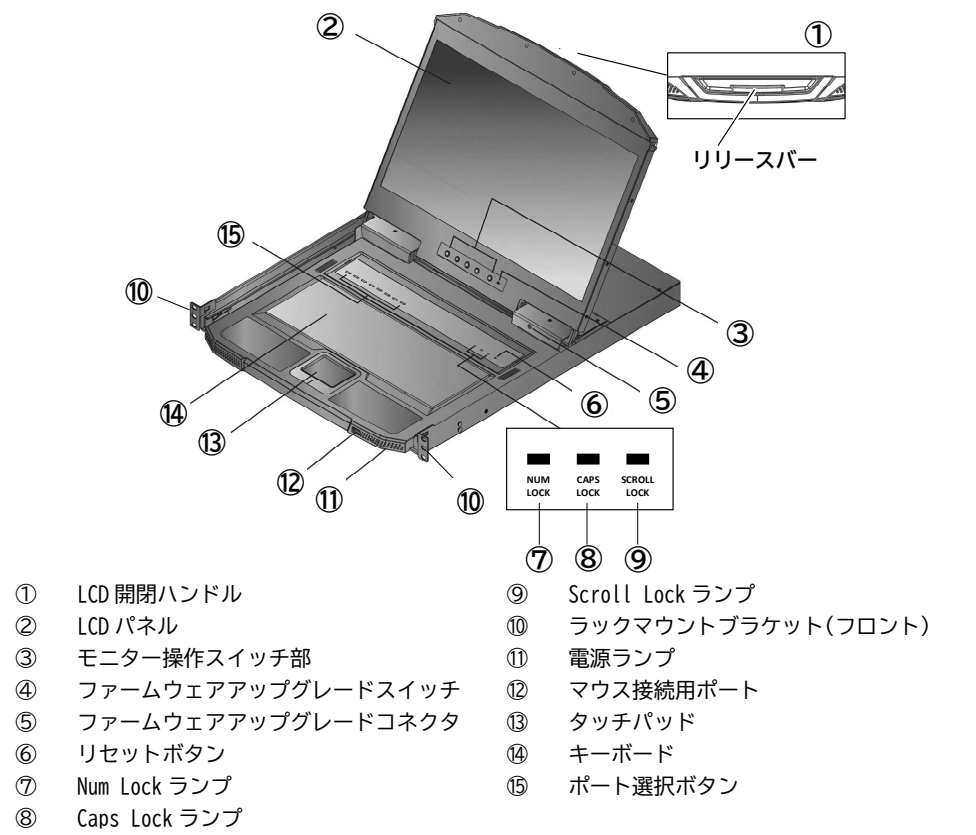
電源の瞬時電圧低下対策について  
この装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。  
電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置(UPS)等を使用されることをお勧めします。

日本国外での使用について  
この装置は、日本国内での使用を前提としているため、海外各国での安全規格等の適用を受けておりません。 したがって、この装置を輸出した場合に当該国での輸入通関および使用に対し罰金、事故による補償等の問題が発生することがあっても、弊社は直接・間接を問わず一切の責任を免除させていただきます。

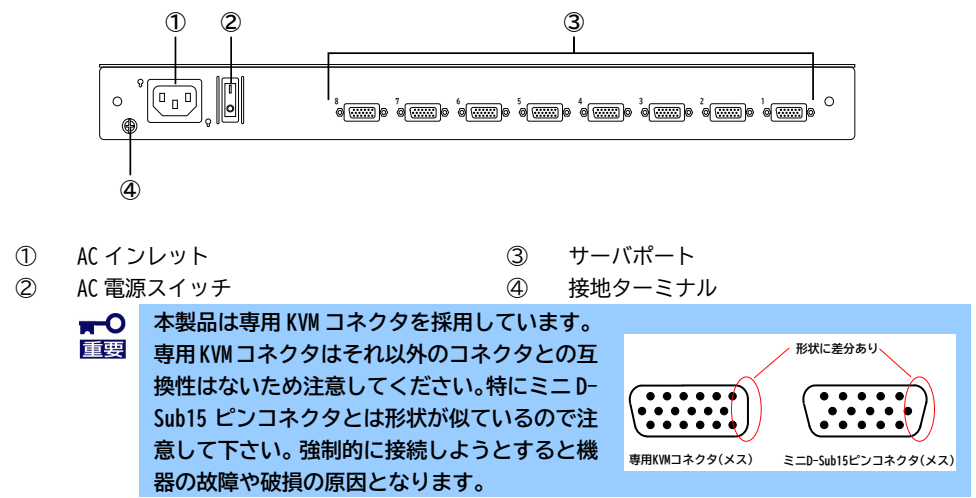
本製品に関する詳しい説明が記載されている「ユーザーズガイド」は NEC Web サイトにて公開しています。

各部の名称

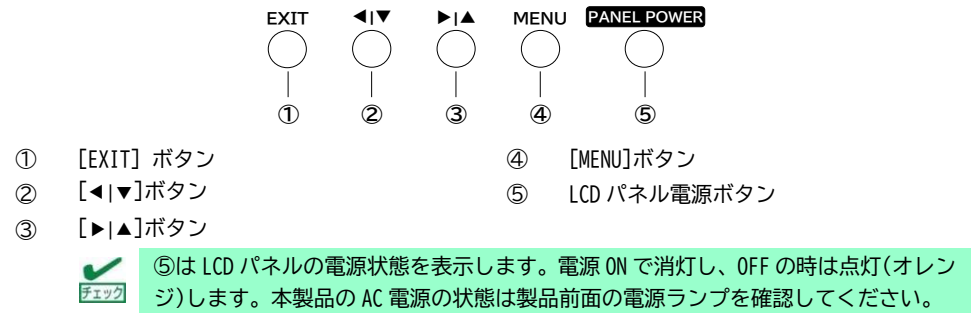
本製品外観



背面



モニター操作スイッチ部



**ランプ**  
(LCD パネル電源ボタン)  
LCD パネルの電源が ON の時は消灯し、OFF の時は点灯(オレンジ)します。

(電源ランプ)  
製品本体に電源が入っている場合に点灯(グリーン)します。

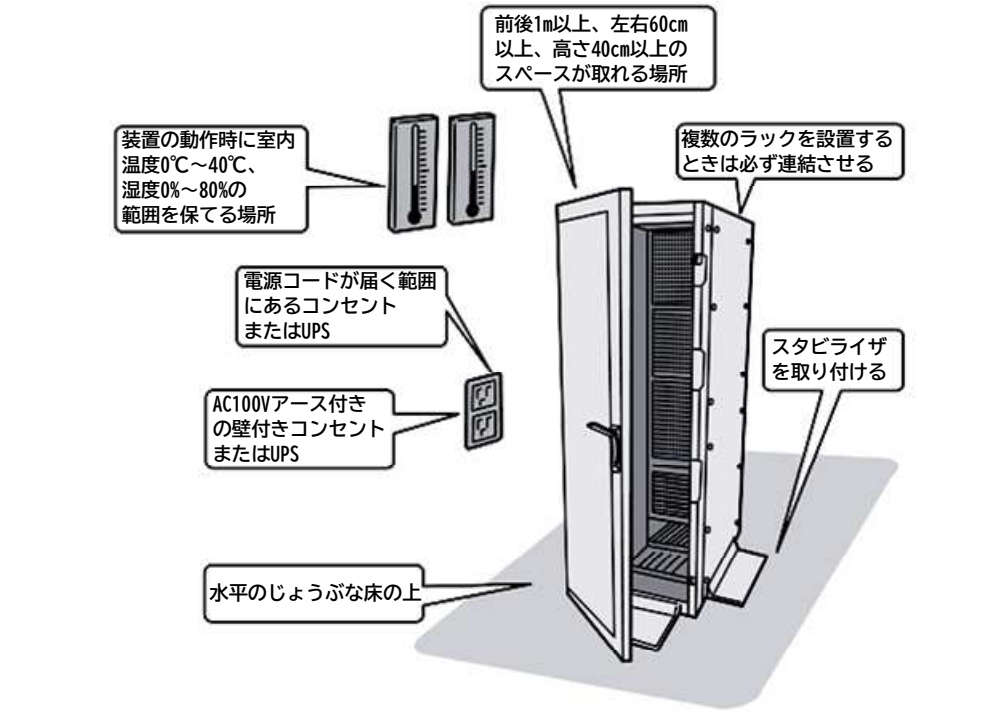
(ポート選択ボタン)

各ポート選択ボタンには 2 種類の LED ランプが内蔵されています。	
名称	意味
ONLINE(オレンジ)	<ul style="list-style-type: none"><li>そのポートにサーバが接続されていて、なおかつサーバの電源が ON であることを意味します(USB 端子の 5V 電圧を検知)。</li><li>カスケード接続時には本製品の[ONLINE]ランプが点滅します。</li><li>ファームウェアアップグレードモード中は全ポートの[ONLINE]ランプが点滅します。</li></ul>
SELECTED(グリーン)	<ul style="list-style-type: none"><li>そのポートが選択されていることを意味します。</li><li>オートスキャンモード、スキップモード中は選択中のポートの[SELECTED]ランプが点滅します。</li></ul>

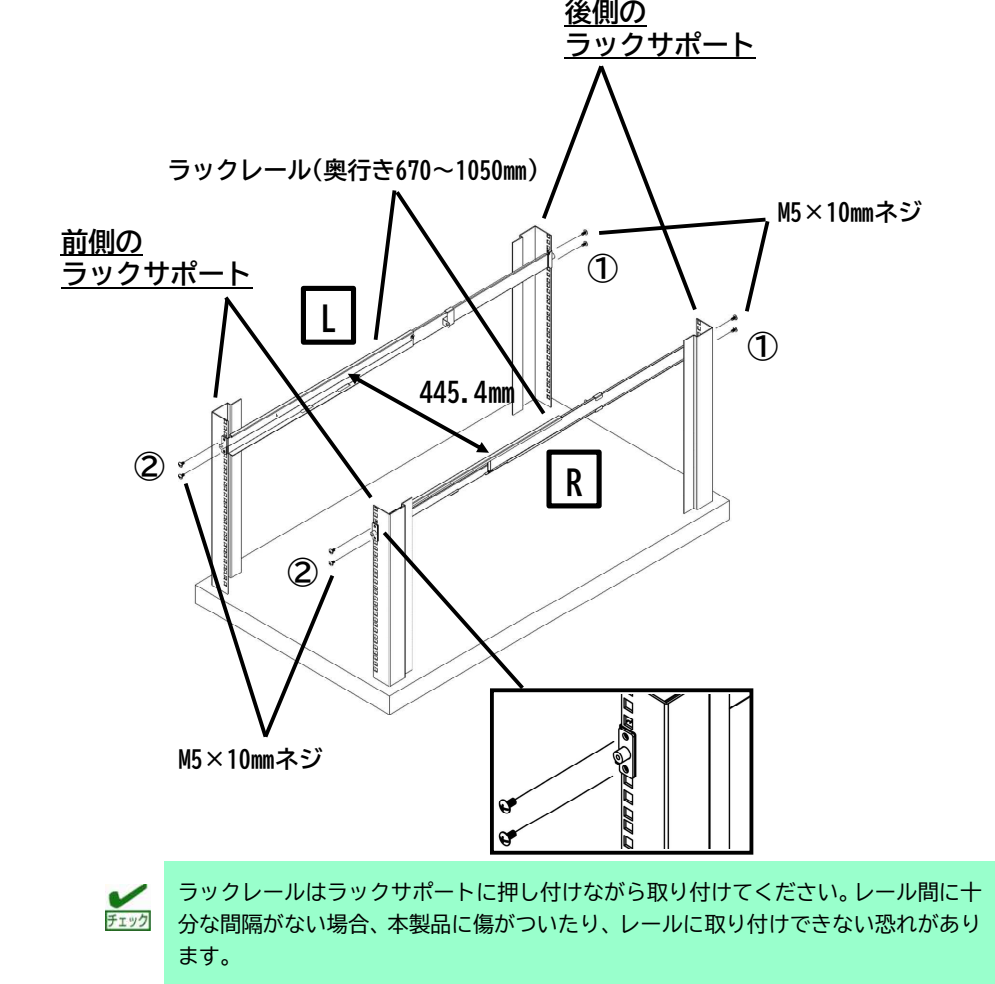
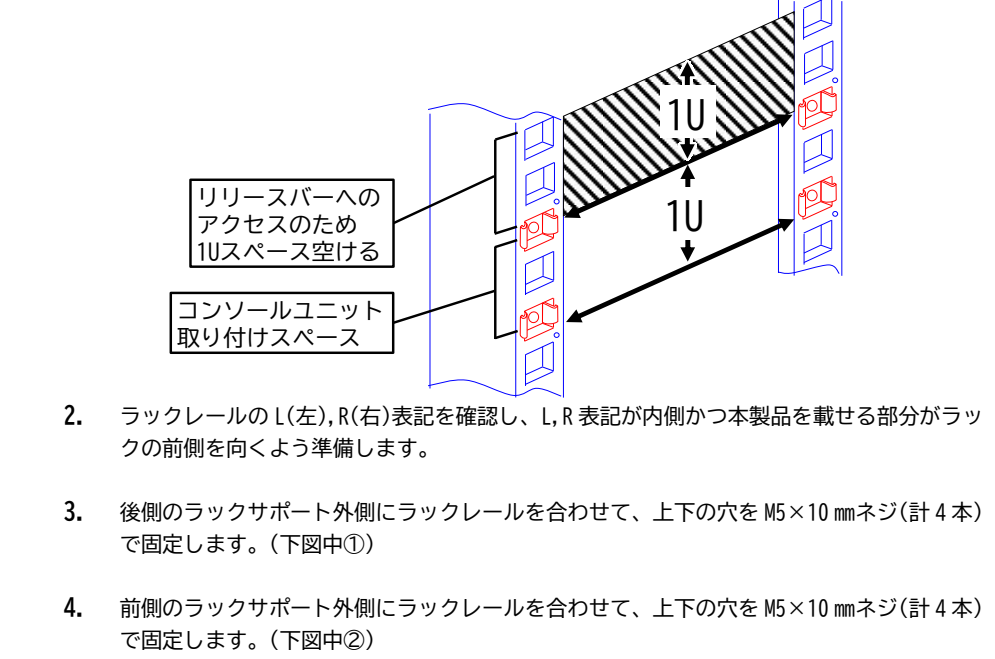
(ロック LED(Num Lock, Caps Lock, Scroll Lock))  
■ 各機能が有効になっている時に点灯(グリーン)します。  
■ KVM ホットキー表示中 Caps Lock と Scroll Lock が交互に点滅します。

設置

**ラックに設置する場合**  
本製品は、EIA 規格に適合した 19 型(インチ)ラックに取り付けて使用します。  
次の条件を守ってラックを設置した後、本製品を取り付けます。

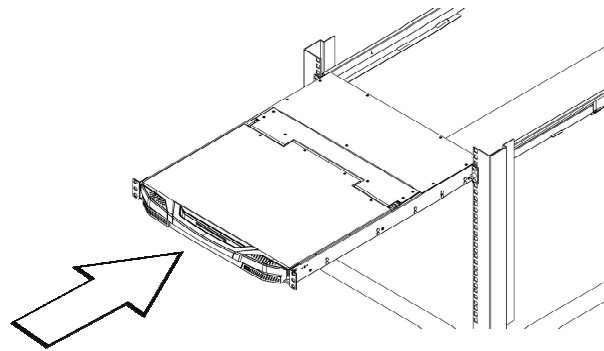


(ラックレールの取り付け)  
1. 本製品を取り付けるための 1U スペースと、リリースバーへのアクセスのための 1U スペースを確保します。またラックに添付されているコアナットをラック前後の設置部分に 4 個ずつ取り付けます。下の装置とも干渉するおそれがある場合は、下にも 1U のスペースを空けるなど、搭載位置を変更してください。  
**重要** コアナットを取り付ける位置は、前後の設置部分の高さをそろえて取り付けてください。この時、ラックの設置部分に刻印されている数字を目安にすると高さをそろえやすくなります。



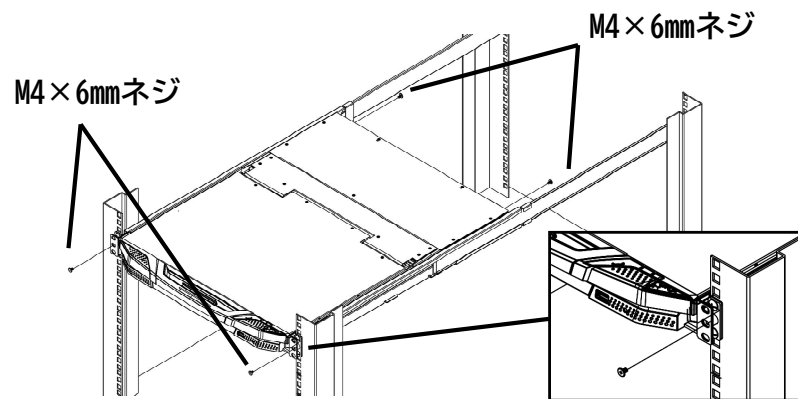


1. ラックレール前方から本製品をスライドさせて取り付けます。



本製品の取り付け後、上下のスペースが狭く後述のケーブル類の接続が難しい場合、ケーブル類を接続(「ケーブルの接続」各章の手順 1, 2 参照)してから取り付けることも可能です。

2. 本製品を止まるまで押し込み、各レール 2 箇所を取り付け用 M4×6mm ネジで固定します。



レール後側のネジを留める金具はレール上をスライドさせることができます。本製品後部にぴったりとくっつけた後、ネジで留めてください。

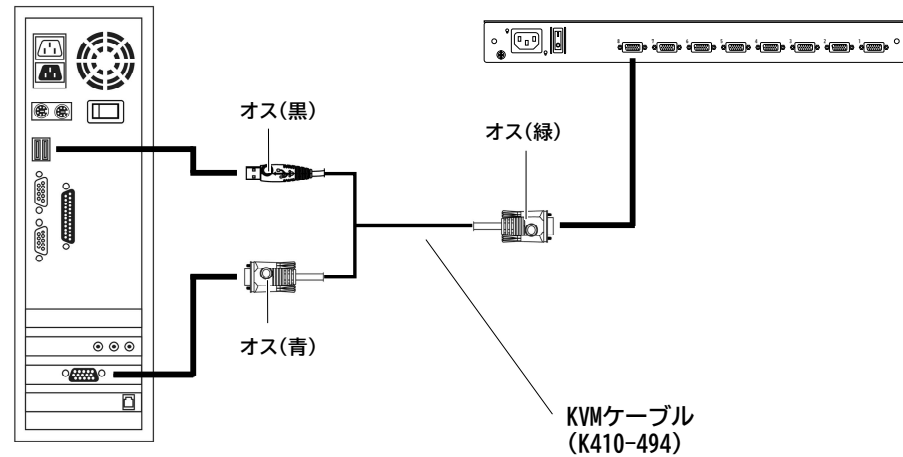
## ケーブルの接続



- 本製品は専用 KVM コネクタを採用しています。専用 KVM コネクタはそれ以外のコネクタとの互換性はないため注意してください。特にミニ D-Sub15 ピンコネクタとは形状が似ているので注意して下さい。強制的に接続しようとすると機器の故障や破損の原因となります。
- 本製品やサーバおよび周辺装置の電源を OFF にしてからケーブル接続をしてください。ON のまま接続すると誤動作や故障の原因となります。
- 接続の前に接続する全ての機器が正しく接地されていることを必ず確認してください。
- カスケード接続に使用するケーブルは K410-494 のみです。他のケーブルは使用できません。
- KVM ケーブルおよび SSU コンソールケーブルのコネクタを接続する際は、コネクタの固定ネジを締めて、確実に本製品および SSU、サーバに接続してください。確実に接続していない場合、発色の異常やノイズ・乱れの発生等が起こるおそれがあります。
- ケーブルを固定する際は、ケーブルがたるんで垂れ下がらないように、かつコネクタにテンションがかからないようにしてください。
- インタフェースケーブルはケーブル結束バンドで固定してください。
- ケーブルがラックのドアや側面のガイドレールなどに当たらないよう整理してください。
- 電源コードのプラグ部分が圧迫されないようにしてください。

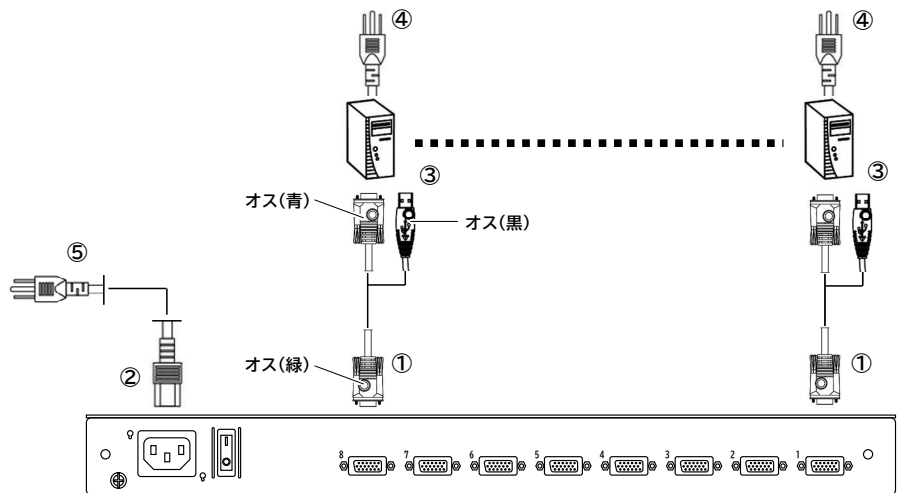


添付の「接続先表示ラベル」に接続先を記入してケーブルに貼り付けておくことをお勧めします。お手入れや、移動の際に作業しやすくなります。



サーバと本製品の接続図

## サーバとの接続



1. KVM ケーブルをサーバポートに接続します。(接続図①参照)



本製品は専用 KVM コネクタを採用しています。専用 KVM コネクタはそれ以外のコネクタとの互換性はないため注意してください。特にミニ D-Sub15 ピンコネクタとは形状が似ているので注意して下さい。強制的に接続しようとすると機器の故障や破損の原因となります。



2. 本製品の電源コードを AC インレットに接続し添付のケーブルホルダーで固定します(「AC ケーブルの抜け防止」参照)。(接続図②参照)



指定された電源コード以外のコードを使わないでください。



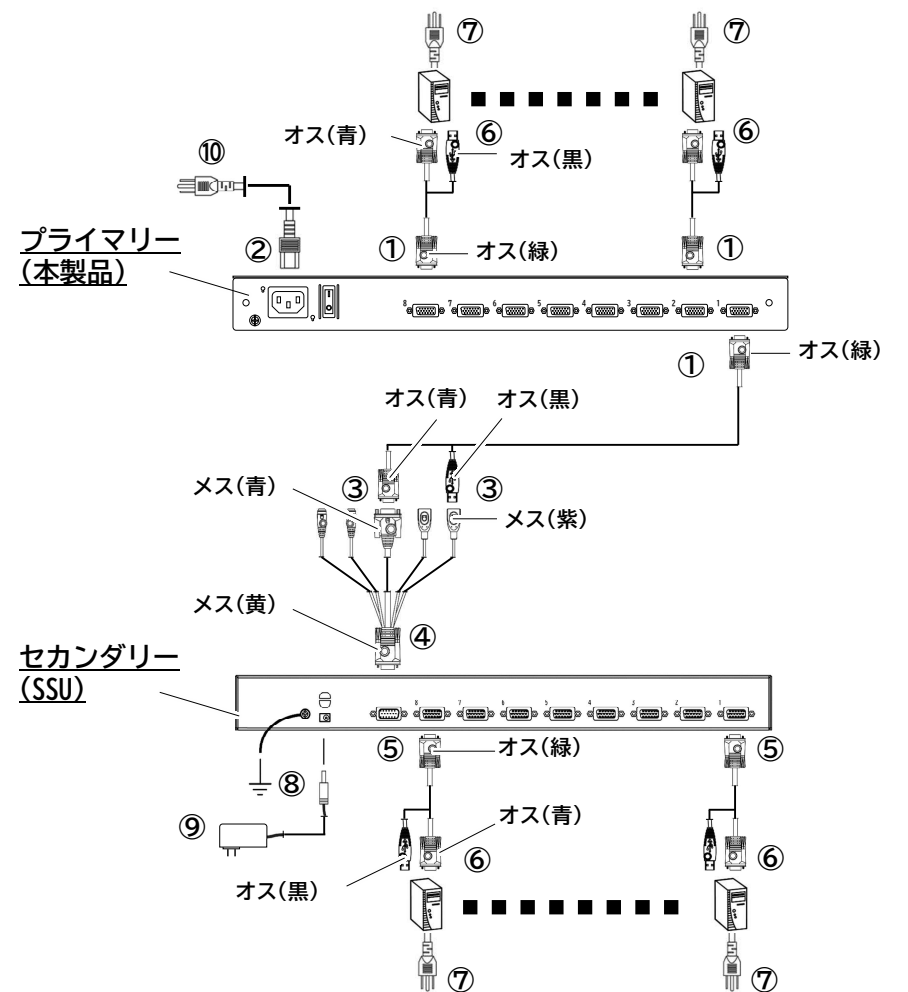
LCD コンソールユニットの AC 電源スイッチへのアクセスが困難となる場合は AC 電源スイッチを ON にした後、電源コードを AC インレットに接続してください。また本製品の AC 電源スイッチ操作の代替として、AC プラグの挿抜により対応してください。

3. KVM ケーブルをサーバに接続します。(接続図③参照)
4. サーバの電源プラグをコンセントに接続します。ただしサーバの電源は OFF のままにします。(接続図④参照)
5. 本製品の電源コードをコンセントに接続します。(接続図⑤参照)
6. 全てのケーブルが正しく接続されている事を確認した後、本製品→サーバの順で電源を ON にします。本製品の電源は背面の電源スイッチから投入できます。
7. サーバが起動したら、本製品の設定・確認を行ってください。



本製品の設定方法はユーザズガイドを参照してください。

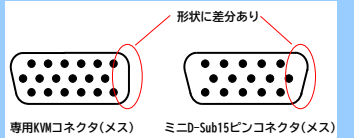
## カスケード接続(SSU を接続する場合)



1. KVM ケーブルをサーバポートに接続します。(接続図①参照)



本製品は専用 KVM コネクタを採用しています。専用 KVM コネクタはそれ以外のコネクタとの互換性はないため注意してください。特にミニ D-Sub15 ピンコネクタとは形状が似ているので注意して下さい。強制的に接続しようとすると機器の故障や破損の原因となります。



2. 本製品の電源コードを AC インレットに接続し添付のケーブルホルダーで固定します(「AC ケーブルの抜け防止」参照)。(接続図②参照)



指定された電源コード以外のコードを使わないでください。



LCD コンソールユニットの AC 電源スイッチへのアクセスが困難となる場合は AC 電源スイッチを ON にした後、電源コードを AC インレットに接続してください。また本製品の AC 電源スイッチ操作の代替として、AC プラグの挿抜により対応してください。

3. KVM ケーブルを SSU コンソールケーブルに接続します。(接続図③参照)



KVM ケーブルの USB コネクタは必ず SSU コンソールケーブルの USB キーボードコネクタ(メス、紫)に接続してください。USB マウスコネクタ(メス、緑)はサポートしていません。

4. SSU コンソールケーブルをセカンダリーのコンソールポートに接続します。(接続図④参照)  
カスケード接続の段数は 2 段までです。セカンダリーのサーバポートに SSU を接続しないで下さい。



セカンダリーを増設する場合は、手順 3, 4 の要領で接続してください。

5. セカンダリーのサーバポートに KVM ケーブルを接続します。(接続図⑤参照)

6. 本製品、およびセカンダリーに接続された KVM ケーブルをサーバに接続します。（接続図⑥参照）
7. サーバの電源プラグをコンセントに接続します。ただしサーバの電源は OFF のままにします。（接続図⑦参照）
8. AC アダプタのケーブルを SSU の DC インレットに接続します。この時、SSU 添付のケーブルタイで固定します。（SSU ユーザーズガイドおよび接続図⑧参照）



- 重要

■ 必ず SSU 付属の AC アダプタをお使い下さい。

■ ケーブルが強い力で引っ張られることのないよう注意してください。

9. 全てのケーブルが正しく接続されたことを確認した後、セカンダリーに接続されている AC アダプタをコンセントに接続し、全てのセカンダリーに電源が入ったことを確認してください。（接続図⑨参照）
10. 本製品の電源コードをコンセントに接続します。（接続図⑩参照）
11. 本製品の電源を ON にし、電源が入ったことを確認してください。
12. 最後にサーバの電源を ON にします。
13. サーバが起動したら、本製品と SSU の設定・確認を行ってください。

- 重要

■ 本製品の設定方法はユーザーズガイドを参照してください。

■ SSU の設定方法は SSU のユーザーズガイドを参照してください。

**ケーブル結束バンドの使い方**  
添付のケーブル結束バンドを用いて、お客様の環境に応じた適切なケーブル整理を行ってください。ケーブル結束バンドは以下のようにラックレールに取り付けて使用できる他、ケーブルに直接巻き付けることもできます。

